

**暖房力 No. 1(*1)、省エネ No. 1(*2)を実現
床置きエアコン「暖房エアコン 白くまくん」を発売
除霜運転中の暖房運転を昨年度に引き続き可能に。**

日立アプライアンス株式会社（取締役社長：石津 尚澄）は、床置き型ルームエアコン「暖房エアコン 白くまくん」3機種を9月上旬から順次発売します。本製品では、室内機前面の空気の吸い込み口について形状を改良し、暖房効率を向上することにより、床置きエアコンにおいて暖房力 No. 1 (*1)、省エネ No. 1 (*2) を実現しました。また、エアコン暖房時に行う除霜運転中も暖房運転を継続する機能も引き続き搭載しました。

尚、本製品は東北電力（株）殿が電化機器の省エネルギー性・経済性の観点から推薦する、東北電力（株）推薦 省エネルギー電化機器です。

■ 型式および発売時期

型式	能力	電源	冷房時 適用畳数	希望小売価格 (税込)	発売時期	当初月産台数
RAF-36X	3.6kW	単相 100V	12 畳程度	451,500 円	2007年10月上旬	1,000 台
RAF-40X2	4.0kW	単相 200V	14 畳程度	504,000 円	2007年9月上旬	1,500 台
RAF-50X2	5.0kW	単相 200V	16 畳程度	598,500 円	2007年9月上旬	1,500 台

■ 新製品の主な特長<床置きエアコン「暖房エアコン 白くまくん」>

1. 4.0kW 床置きエアコンにおいて暖房力 No. 1 (*1) を実現

ハイパワーと省エネを両立する PAM 制御を引き続き採用すると共に、室内機前面の空気の吸い込み口(グリル形状)の穴の形状を蜂の巣状の六角形(ハニカムネット)に改良し、空気の吸い込み効率を良くすることで、暖房効率も高めました。これにより、外気温 2℃ 時の暖房能力は、4.0kW 床置きエアコンにおいて業界トップの 6.7kW、寒さの厳しい外気温マイナス 15℃でも 5.6kW (*3) の高暖房力を発揮します。

2. 4.0kW 床置きエアコンにおいて省エネ No. 1 (*2) を実現

期間消費電力量 (*4) は、1,781kWh を実現し、10年前の床置きエアコンと比べ、暖房電気代は約 30% (*5) 節約できます。

3. 除霜運転中も暖房運転を継続する「ホットバイパス除霜システム」を引き続き搭載

通常のエアコンの暖房運転時は室外機の熱交換器に付着する霜を溶かすため、暖房運転を一時停止し、室温が一時的に下がることがありました。そこで、こうした除霜運転中も暖房運転を継続でき、室温の低下を防ぐ、当社独自の「ホットバイパス除霜システム」を昨年度に引き続き搭載しました。室外機の熱交換器を2つに分割し、除霜運転を片方ずつ交互に行うので、暖房運転を停止することなく、部屋を暖め続けることができます。

- (※1) 2007年8月27日現在。4.0kWクラス家庭用床置き型ルームエアコンにおいて。JIS低温（外気温2℃）時暖房能力6.7kW。
- (※2) 2007年8月27日現在。4.0kWクラス家庭用床置き型ルームエアコンにおいて。RAF-40X2。COP3.99 期間消費電力量1,781kWh。
- (※3) 測定条件はJISに準拠（室温20℃、外気温、乾球温度マイナス15℃、湿球温度マイナス16℃時。除霜運転を含む。空気エンタルピー測定装置による）。RAF-40X2。外気温マイナス15℃時の消費電力は2,450W。
- (※4) （社）日本冷凍空調工業会統一条件による。冷房期間3.6ヵ月間、暖房期間5.5ヵ月間にて算出。算出基準の外気温条件は東京をモデルとしています。
- (※5) 当社10年前の同等機種RAF-405JX2比。

■需要動向と開発の背景

CO₂削減が急務であることや、原油価格の高騰に伴う灯油価格の上昇、高齢化社会への移行に伴う安全な暖房器具へのニーズの高まり等を背景に、電気暖房への関心がますます高まってきています。こうした中、燃焼暖房からの買い替え促進が予想される、電気暖房の中でも省エネ性が高いルームエアコン、特に床置きタイプのエアコンについても、現時点では、市場規模は小さいものの、足元からの温風により、床面を強力に暖める点が好評で、市場の伸長が見込まれます。そこで当社は、暖房力、省エネ性能を向上させた床置きエアコンの新製品を新たに投入します。

■お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話／0120-3121-11

■ルームエアコンホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/ra/>

以上

(添付資料)

■床置きエアコン「暖房エアコン 白くまくん」の詳細説明

1. 4.0kW床置きエアコンにおいて暖房力No.1(*1)を実現

ハイパワーと省エネを両立するPAM制御を引き続き採用すると共に、室内機前面の空気の吸い込み部分(グリル部分)に蜂の巣形状の「ハニカムネット」を採用しました。この「ハニカムネット」は、空気が通る穴の形状を六角形にすることで、吸い込み面積を従来機種より約14%(*2)拡大し、従来のスリット形状に比べて小さい通風抵抗で空気を吸い込むことができ、効率を高めました。これにより、外気温2℃時の暖房能力は、4.0kW床置きエアコンにおいて業界トップの6.7kWを実現し、外気温マイナス15℃でも5.6kW(*3)の高暖房力を発揮します。

(*1) 2007年8月27日現在。4.0kWクラス家庭用床置き型ルームエアコンにおいて。JIS低温(外気温2℃)時暖房能力6.7kW。

(*2) 当社昨年同等機種RAF-40W2比。

(*3) 測定条件はJISに準拠(室温20℃、外気温、乾球温度マイナス15℃、湿球温度マイナス16℃時。除霜運転を含む。空気エンタルピー測定装置による)。RAF-40X2。外気温マイナス15℃時の消費電力は2,450W。

2. 4.0kW床置きエアコンにおいて省エネNo.1(*4)を実現

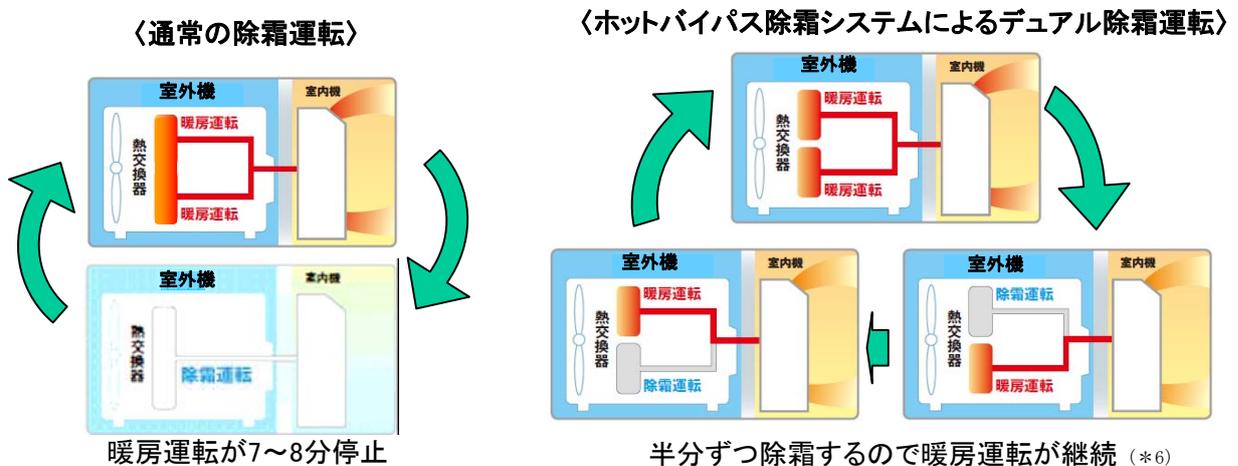
期間消費電力量は、1,781kWhを実現し、10年前の床置きエアコンと比べ、暖房電気代は約30%(*5)節約できます。

(*4) 2007年8月27日現在。4.0kWクラス家庭用床置き型ルームエアコンにおいて。RAF-40X2。COP3.99 期間消費電力量1,781kWh。

(*5) 当社10年前の同等機種RAF-405JX2比。

3. 除霜運転中も暖房運転を継続する「ホットバイパス除霜システム」を引き続き搭載

通常エアコン暖房時には、室外機熱交換器が冷やされて付着した霜を溶かす除霜運転を行う必要があり、その間は暖房運転を停止するため、室温が低下してしまうことがありました。そこで、弊社では、「ホットバイパス除霜システム」を開発し、昨年より搭載しています。このシステムでは、室外機の熱交換器を2つに分割し、片方ずつ交互に除霜運転を行う「デュアル除霜運転」により暖房運転を継続し、部屋の暖かさを保ちます。



[図1 除霜運転のしくみ]

(*6) 霜付き量の多い時は、暖房運転を停止し、除霜運転を行う場合があります。

4. わかりやすく、見やすい本体表示・本体操作部を新たに採用。

本体上部に大きな文字のLED表示を採用し、設定室内温度と現在室内温度をわかりやすくするとともに、「運転・停止」ボタンや「おさえめ運転」「温度調節」ボタンといった主操作部も本体に搭載し、リモコンと本体の双方で操作できるようにしました。また、チャイルドロック機能や毎日決まった時刻のON/OFFを予約できる「毎日予約」も今回新たに採用しました。



運転状態を色で表示【暖房:赤、冷房:青、除湿:緑】

[図 2 本体表示]



[図 3 本体操作部]

■ 新製品の主な仕様

型式	電源	定格能力		色	外形寸法 mm(幅×高さ×奥行)
		kW(暖房)	kW(冷房)		
RAF-36X	単相 100V	4.8	3.6	シャンパ°ンゴ°ールド°	室内 750X600X235 室外 792X600X299
RAF-40X2	単相 200V	5.0	4.0	シャンパ°ンゴ°ールド°	室内 750X600X235 室外 850X800X298
RAF-50X2	単相 200V	6.3	5.0	シャンパ°ンゴ°ールド°	室内 750X600X235 室外 850X800X298

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
